

製品安全データシート

会 社 三精塗料工業株式会社
住 所 奈良県大和郡山市額田部北町 1261-5
電 話 0743-56-8611 FAX：0743-56-8621
作製日 1999/12/3

【物質名】 レジン SANSEI E1300 主剤

【物質の特定】

化 学 名 エポキシ樹脂系二液型接着剤 他
成 分 ビスフェノールF型液状エポキシ樹脂 他
構 造 式
CAS No.
国連分類
国連番号

【危険性、有害性の分類】

分類の名称 分類基準に該当しない。
危 険 性 消防法危険物第4類第3石油類（非水溶性）。
有 害 性 蒸気を吸入、又は、液体を飲み込むと健康障害を生じる可能性がある。
皮膚に繰り返し接触すると、皮膚炎を起こすことがある。

【応急措置】

皮膚に付着した場合

汚染した衣服、靴を脱ぎ、付着物はウェス等で拭き取り、石鹼を使って十分に洗い流す。石鹼で落ちにくい場合は、ウェス等に少量のアルコールを付けて拭き取った後、直ちに石鹼と水で十分に洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当を受ける。

目に入った場合：

直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける。

吸入した場合：

直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、しばらく安静にする。

必要に応じて医師の手当を受ける。

誤飲した場合：

無理に吐かせてはならない。患者に意識がある場合は、多量の牛乳か水を与え、患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。速やかに医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。

大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

【漏出時の措置】

風下での作業は行わない。又、風下の人を待避させる。

付近の着火源となる物を速やかに取り除く。消火器用機材を準備する。

作業の歳には必ず保護具を着用する。

へら等で掻き取った後、ウエス等で拭き取り、空容器に回収する。

残りは、酢酸などで中和し、温水で洗い流す。

【取扱い及び保管上の注意】

火気厳禁。

取扱いは、換気の良い場所で行う（局所排気装置設置場所など）

屋外での取扱いは、出来るだけ風上から作業する。

火気、静電気、衝撃火花等による着火源の生じないように注意する。

接触、吸入の防止のため、必ず保護具を着用する。

漏洩の防止。

エポキシ基と反応する化学物質（硬化剤など）との不用意な混入厳禁。

保管の際には密栓し、常温の屋内で、直射日光を避け、火気、高温物を近づけない。

【暴露防止措置】

成分 ビスフェノールF型エポキシ樹脂 他

管理濃度 設定されていない

許容濃度 日本産業衛生学会勧告値：設定されていない

ACGIH（TLV） ：設定されていない

OSHA（PEL） ：――

設備対策 密閉された装置、機器又は局所排気装置、シャワー室、洗眼装置を設置する。

保護具 防毒マスク（有機ガス用）、保護眼鏡、保護手袋を着用する。

【物理／化学的性質】

外 観：乳白色粘稠液体

臭 気：弱い刺激臭

比 重：1.15～1.20（20℃）

沸 点：――

蒸 気 圧：――

溶解度：水に不溶

蒸気密度：――

粘 度：2,500 mPa・s(20℃)

引火性：178℃

発火点：――

爆発範囲：――

安全性、反応性：通常の条件では安定である。アミン類とは発熱を伴って反応して硬化する。強酸、酸、アルカリ、酸化剤などと急激に発熱反応する。

【有害性情報】

急性毒性：

刺激性：皮膚や目に炎症を起こす恐れがある。

感作性：人により感作性皮膚炎を生ずることがある。

変異原性：微生物を用いる変異原性試験及びほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の2種類の変異原性試験で所定の基準を越える変異原性が認められており、健康障害を生じる可能性がある。（文献1）
労働省指針（文献2）に定める措置をとる必要がある。

【環境影響情報】

分解性：――

蓄積性：――

魚毒性：――

【輸送上の注意】

運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【廃棄場の注意】

取扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、引火性の強い有害性液体に関する一般的な注意事項による。

廃棄する場合は、少量ずつ焼却炉で焼却するか、焼却炉の火室に噴霧し、焼却する。

外部で処理される場合は、廃棄物処理業者に委託し、産業廃棄物に関する法律類を遵守する。

【適用法令】

消防法：第4類第3石油類（非水溶性液体）

海洋汚染防止法：B類物質

労働安全衛生法：変異原性化学物質

【その他】

「エポキシ樹脂・硬化剤 正しい取り扱いの手引き」

エポキシ樹脂技術協会 1989年3月 改訂新版第1版

「製品安全データシートの作製指針」

（社）日本化学工業協会 1992年8月

(文献1) 労働基準局長通達 平成6年6月6日付 基発第341号2

(文献2) 平成5年5月17日付 基発第312号の2の別添

「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報並びにデータに基づいて作製しており、新しい知見によって改訂されることがあります。

又、記載内容は当社の最前の知見によるものですが、情報の提供であり、保証するものではありません。

そして、ここに書かれた注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な手扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

なお、この製品と「SANSEI E1300 硬化剤」以外の製品、もしくは他の種類の樹脂と混合したり、表示の配合比率以外の不適正な混合をしますと、所期の性能を発揮できません。又、労働安全衛生上、支障をきたすことがありますので、ご注意下さい。

【物質名】 レジン SANSEI E1300 硬化剤

【物質の特定】

化 学 名 エポキシ樹脂系二液型パテ
成 分 変性脂肪族ポリアミン 他
構 造 式
CAS No.
国連分類 クラス8（腐食性物質）
国連番号 1760

【危険性、有害性の分類】

分類の名称 分類基準に該当しない。
危 険 性 消防法 危険物第4類第3石油類 引火性液体
酸化剤との接触により、発熱、発火することがある。
有 害 性 皮膚に繰り返し接触すると、皮膚炎を起こすことがある。
蒸気は、目、鼻、喉を刺激する。麻酔作用がある。

【応急措置】

皮膚に付着した場合

汚染した衣服、靴を脱ぎ、付着物はウェス等で拭き取り、石鹼を使って十分に洗い流す。石鹼で落ちにくい場合は、ウェス等に少量のアルコールを付けて拭き取った後、直ちに石鹼と水で十分に洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当を受ける。

目に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の手当を受ける

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、しばらく安静にする。
必要に応じて医師の手当を受ける。

誤飲した場合

無理に吐かせてはならない。患者に意識がある場合は、多量の牛乳か水を与え、患者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。速やかに医師の診断を受ける。

【火災時の措置】

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。

大規模火災の場合には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
棒状水の使用は火災を拡大し、危険な場合がある。周辺火災の場合は、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火剤：粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

【漏出時の措置】

【¥E1300.jtdc】

風下での作業は行わない。又、風下の人を待避させる。
付近の着火源となる物を速やかに取り除く。消火器用機材を準備する。
作業の歳には必ず保護具を着用する。
へら等で掻き取った後、ウエス等で拭き取り、空容器に回収する。
残りは、酢酸などで中和し、温水で洗い流す。

【取扱い及び保管上の注意】

火気厳禁

取扱いは、換気の良い場所で行う（局所排気装置設置場所など）

屋外での取扱いは、出来るだけ風上から作業する。

火気、静電気、衝撃火花等による着火源の生じないように注意する。

接触、吸入の防止のため、必ず保護具を着用する。

漏洩の防止

高温で長時間空気に触れると着色するので注意する。

保管の際には、密栓し、常温の屋内で、直射日光を避け、火気、高温物を近づけない。

開封後は速やかに使い切り、万一、乱目が出来た場合は、窒素シール後、密栓して保管する。

【暴露防止措置】

成分	変性脂肪族ポリアミン	
管理濃度	設定されていない	
許容濃度	日本産業衛生学会勧告値	設定されていない
	ACGIH (TLV)	設定されていない
	OSHA (PEL)	――
設備対策	密閉された装置、機器又は局所排気装置、シャワー室、洗眼装置を設置する。	
保護具	防毒マスク（有機ガス用）、保護眼鏡、保護手袋を着用する。	

【物理／化学的性質】

外 観	青色液体	臭 気	アミン臭
比 重	0.95～1.05 (20℃)	沸 点	――
蒸 気 圧	――	溶解度	水に難溶
蒸気密度	――	粘 度	500mPa・s (20℃)
引火性	160℃	発火点	――
安全性、反応性：通常の条件では安定である。エポキシ樹脂類とはかなりの発熱を伴って反応する。急激な硬化や多量の硬化時には、有害な煙、蒸気を伴い、反応物の炭化や分解を生ずることがある。			

【有害性情報】

急性毒性：ラット経口 LD₅₀=4,800mg/kg

刺激性：皮膚や目に炎症を起こす恐れがある。

感作性：報告されていない

変異原性：報告されていない

亜慢性毒性：報告されていない

【環境影響情報】

分解性：報告されていない

蓄積性：報告されていない

魚毒性：報告されていない

【輸送上の注意】

運搬に際しては容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【廃棄場の注意】

取扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、引火性の強い有害性液体に関する一般的な注意事項による。

廃棄する場合は、少量ずつ焼却炉で焼却するか、焼却炉の火室に噴霧し、焼却する。

外部で処理される場合は、廃棄物処理業者に委託し、産業廃棄物に関する法律類を遵守する。

【適用法令】

消防法 第4類第3石油類（非水溶性液体）

【その他】

「エポキシ樹脂・硬化剤 正しい取り扱いの手引き」

エポキシ樹脂技術協会 1989年3月 改訂新版第1版

「製品安全データシートの作製指針」

（社）日本化学工業協会 1992年8月

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報並びにデータに基づいて作製しており、新しい知見によって改訂されることがあります。

又、記載内容は当社の最前の知見によるものですが、情報の提供であり、保証するものではありません。

そして、ここに書かれた注意事項は、通常の手扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。

なお、この製品と「S A N S E I E 1 3 0 0 主剤」以外の製品、もしくは他の種類の樹脂と混合したり、表示の配合比率以外の不適正な混合をしますと、所期の性能を発揮できません。又、労働安全衛生上、支障をきたすことがありますので、ご注意下さい。